

2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講	義 概 要					
医学部 保健学科	1	全学年	看護学	地域で暮らす人々への看護、健康なまちづくり	◆私たちの健康は地域社会の環境やしくみと密接に関係して成り立っています。育児不安や子どもの虐待、生活習慣病、介護予防、感染症、在宅での療養・介護等から一つのテーマを取り上げ、自分や家族の健康や健康なまちづくりについてみなさんといっしょに考えます。	准教授	(代表) 井上 智代 他 3名で担当	要相談	○	○
	2	全学年	看護学	助産師と話してみませんか？自分のからだ結婚と妊娠～子育て	◆助産師資格を持つ教員が担当します。身体がめざましく変化する妊娠～出産、子育て期について、生理的メカニズムとそれに応じる母子と家族へのケアを解説します。さらに、参加するみなさんのこれからの大事なライフイベントとしてこれらのことを考える機会をもちます。	教授	(代表) 有森 直子 他 3名で担当	要相談	○	○
	3	全学年	看護学	心の健康と看護(メンタルヘルス)	◆心と身体は相関関係にあります。身体疾患やライフサイクルに伴う発達課題、ストレスへの不適切な対処が障害を引き起こす一因となります。精神障害に関する正しい理解、対処方法を学び、さらに障害者を排斥しないソーシャルインクルージョン(社会的抱擁)について考えます。	教授	(代表) 中村 勝 他 2名で担当	要相談	○	○
	4	全学年	看護学	ハンセン病問題を考える	◆ハンセン病問題について、医学、人権、歴史などの視点から複合的に解説します。この問題を題材に、病気や障害への差別・偏見について考えていただきます。	教授	宮坂 道夫	要相談	○	○
	5	全学年	看護学	スキントラブルとスキンケア	◆思春期やマスク生活によってスキントラブルに悩むことも多いかと思えます。肌の状態を知って正しくケアするにはどうしたら良いか解説します。皮膚の状態の測定と肌診断も行います。	准教授	柿原 奈保子	要相談	○	○
	6	全学年	看護学	認知症サポーター養成講座	◆高齢者の約5人に1人が認知症になるといわれています。物忘れと認知症の違い、そしてどのような症状がでるか、どのように対応したらよいかを学びます。新潟市内の高校での実施の場合、認知症サポーターとしてオレんじリングを取得可能です。	准教授 助教	柿原 奈保子 深澤 友里	要相談	○	○
	7	全学年	看護学	人を支える看護のきほん	◆看護とは何かについて、看護の定義や機能・役割、方法、倫理等からテーマを取り上げ、分かりやすく講義します。	教授	(代表) 内山 美枝子 他 2名で担当	要相談	○	○
	8	全学年	看護学	慢性疾患と看護	◆慢性疾患は、徐々に発症し、治療や経過が長期に及ぶ疾患の総称で、糖尿病、高血圧、腎臓病、呼吸器疾患などが代表的な疾患です。慢性疾患について学び、成人期・老年期にある人々の慢性疾患の予防、さらに慢性疾患をもつ人々が重症化を予防しその人らしい生活を送る方策を考えます。	准教授	清水 詩子	要相談	要相談	○
	9	全学年	看護学	こどもと家族を支える小児看護	◆子どもは大人を小さくした存在ではなく、成長や発達に応じた特別な関わりが必要です。この講義では、家庭や医療、学校などの場における、子どもや家族への看護の実際を紹介しながら、小児看護の特徴や看護師の役割を紹介します。「子どもにかかわる仕事に興味がある」「看護師の仕事を知りたい」という高校生に向けて、看護の学びの面白さや将来の進路イメージが広がる内容を講義します。	准教授	(代表) 田中 美央 他 1名で担当	要相談	○	○
	10	全学年	看護学	災害と看護	◆日本は災害多発国であり、医療分野においても災害時や防災、減災に対する様々な取り組みが行われています。災害に遭われた方の様子や看護の働きについて講義します。	助教	岩佐 有華	要相談	○	○
	11	全学年	看護学	看護の変遷	◆看護は人類が地上に現れたその時から歴史を刻み始めたといわれます。時代や社会の要請などに影響を受けながら発展してきている看護の変遷について講義します。	助教	坂上 百重	要相談	○	○
	12	全学年	放射線技術科学	医療における放射線治療の役割	◆放射線治療は手術、抗がん剤と並ぶがん治療の3本柱の1つであり、その需要と技術は近年急速に伸びています。講義では放射線治療の役割と具体的な手法を解説します。	教授	笹本 龍太	要相談	○	○
	13	全学年	放射線技術科学	コンピュータ支援診断について	◆医用画像から病変を疑う領域を自動的に抽出／解析した結果を参考にしながら画像診断を行うコンピュータ支援診断について概説する。	教授	近藤 世範	要相談	×	○
	14	全学年	放射線技術科学	PET検査って知ってますか？核医学について教えます	◆PET検査って聞いた事ありますか？決して動物の検査ではありません。病気や体の機能を調べるための核医学検査について説明するとともに、診療放射線技師の仕事についても紹介します。	教授	山崎 芳裕	要相談	○	×
	15	全学年	放射線技術科学	マンモグラフィは女性だけが対象ではありません！	◆乳がんの検査に欠かすことのできないマンモグラフィ検査。これは女性だけの検査ではありません。講義では検査についてわかりやすく説明します。また、保健学研究科で推し進めているGSH(性尊保健)にも少し触れ、女性と男性の特性に応じた医療の重要性についても説明します。	教授	山崎 芳裕	要相談	○	×
	16	全学年	放射線技術科学	身体の動きを透視する	◆X線やCT、MRI、超音波検査を使って体を支え動かす様子を透視し、その仕組み(バイオメカニクス)を説明します。そして、さまざまな関節疾患の診断や治療に役立てる方法を紹介いたします。	教授	小林 公一	要相談	○	○

2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義	概要					
医学部 保健学科	17	全学年	放射線技術科学	医学物理士って何？	◆最近、特に放射線治療分野で活躍の場を広げつつある「医学物理士」という資格について分かりやすく説明します。「医学物理士」は、物理学などの理工系の学問を医学に応用することで、がん医療の発展にも貢献しています。	准教授	宇都宮 悟	要相談	○	○
	18	全学年	放射線技術科学	身体の中を診る。ドラマで見る画像診断	◆病院ではMRI、X線写真、CT、超音波検査などの検査で身体の中を調べて病気の診断をしています。画像検査・診断について、人気ドラマをみながら解説します。	教授	高橋 直也	要相談	○	×
	19	全学年	検査技術科学	不織布マスク、手指やスマホ、食品衛生など身近な物を題材とした微生物学	◆使用した不織布マスク、消毒前後の手指やスマホ、飲み残したペットボトル飲料物など身近な物を題材にして、大学で本格的に学ぶ微生物学を体感してもらい、解説します。	教授	佐藤 拓一	要相談	○	○
	20	全学年	検査技術科学	医食同源 一食事で病気は防げるか？	◆食事に含まれる成分には、単なる栄養としての機能の他に、がんや糖尿病などの生活習慣病や老化に対して防御的な働きがあることが明らかになってきました。体にいい食べ物とは、これらの病気や老化に対して遺伝子レベルでどのような機能を持っているのか概説します。	教授	佐藤 英世	要相談	○	○
	21	全学年	検査技術科学	循環器疾患の臨床と研究	◆循環器疾患の概要、病気の成り立ち、検査診断の方法、治療の実際、予防の重要性、などについて説明いたします。	教授	池主 雅臣	要相談	○	○
	22	全学年	検査技術科学	からだをまもる免疫	◆身体は様々な免疫担当細胞によって異物から守られています。免疫担当細胞の身体の中での役割について最近の知見と共に説明します。	教授	富山 智香子	要相談	○	○
	23	全学年	検査技術科学	造血幹細胞学を礎として再生医療・細胞治療を考える	◆造血幹細胞は造血の起源となる細胞で、一個の細胞から体内の全ての造血細胞の再構築が可能です。造血幹細胞学の発展は骨髄移植を含む造血幹細胞移植の発展に大きな影響をもたらすと共に、再生医療・細胞治療の普及の基盤を形成しました。本講義ではこれらの最新の知見および医療現場における現況について概説します。	准教授	牛木 隆志	要相談	○	○
	24	全学年	検査技術科学	ドラッグデリバリーシステム	◆さまざまなドラッグデリバリーシステムや細胞内へのタンパク質導入法の開発について紹介します。	准教授	奥田 明子	要相談	○	○
	25	全学年	検査技術科学	生体機能の可視化と臨床検査技師	◆心電図や超音波検査など病院で行われる生体機能検査の紹介と生体機能検査における臨床検査技師の役割を説明します。	准教授	齋藤 修	要相談	○	○
	26	全学年	検査技術科学	寄生虫と国際化	◆現代社会では多様な分野において国際化は進んでいますが、寄生虫をメインにした国際化についてのお話をします。	准教授	サトウ 恵	要相談	○	×
	27	全学年	検査技術科学	顕微鏡でみる がん細胞の姿	◆「細胞診」はがん細胞をいち早く見つけ出す検査です。がん細胞の特徴と、細胞診を担う細胞検査士の役割についてお話しいたします。	准教授	須貝 美佳	要相談	○	○
	28	全学年	検査技術科学	消化器疾患の臨床と研究	◆最近の消化器疾患(腸炎、肝炎など)の診断・治療・メカニズムについての説明を行い、今後の課題について説明します。	准教授	松田 康伸	要相談	×	○
	29	全学年	検査技術科学	ヒトパレコウイルスとその感染症について	◆新型ヒトパレコウイルスの発見からヒトパレコウイルス3型の受容体同定に至るまでの研究を通してヒトパレコウイルスとその感染症について説明します。	准教授	渡邊 香奈子	要相談	○	○
	30	全学年	検査技術科学	臨床検査技師の仕事について	◆臨床検査の分野のうち血液を使った検体検査を中心に、臨床現場での役割や研究について説明します。	助教	大澤 まみ	要相談	○	○
	31	全学年	検査技術科学	映画にみる、神経疾患。	◆神経疾患は難しいというイメージを持たれることが多いですが、映画や書籍のなかのテーマとして扱われることもしばしばあります。映画や書籍で描かれる神経疾患は患者さんの実際の生活に密着しているため、より身近に捉えられます。そのような代表的な神経疾患を映画を通して紹介します。	助教	柳川 香織	要相談	○	○
	32	全学年	検査技術科学	肺炎とはどんな病気が知ろう	◆肺とはどんな臓器か、肺炎を発症するとどのような現象が起こるのかをテーマに、肺という臓器の特性から肺炎の病態生理および検査診断法まで分かりやすく説明します。	助教	山本 秀輝	要相談	○	○
	33	全学年	検査技術科学	ウイルスはどう見つける？ - 感染と検査のしくみ	◆ウイルスはどのように体内へ侵入し、生体はどのように防御しているのでしょうか。身近なウイルス感染症を題材に、感染の分子機構と生体防御応答を概説し、ウイルスを同定・検出する検査法の原理と検査の実際について分かりやすく解説します。	助教	西嶋 陽奈	要相談	○	○